

## 笠野 眞喜議員



### 将来の人材育成は

笠野議員

震災から3年5カ月がたち、ありがたいことに今も復旧・復興に多くの方にお世話になっている。このような事から技術的な事を含め、中長期に貢献でき、将来を担う人材の育成が必要ではないか。例えば、農業関係の学校を卒業したが、学習や実践をもう少し深めたい人のために農家塾等を作ってみてはどうか。

また、村職員も基本的な研修だけでなく、斬新な考えを持てる長期的な研修を考えてみては。

### 生活習慣病予防対策は

笠野議員

生活習慣病は、健康長寿の最大の阻害要因で村民医療費にも大きな影響を与えている。予防策として日常生活の中で適度な運動を行い、バランスの取れた食生活、禁煙を実践することが大切だ。村民の運動不足解消のため、

- ①地区公民館に健康遊具を設置してはどうか。
- ②特定健診受診率をあげるため、村の取り組みは。

### 村を担う高度な人材が必要

村 長

人材育成施策については様々な分野で取り組んでいる。教育分野では村営学習塾・子供会の交流キャンプ・高齢者学級・スマートフォン操作等のスキルアップ講座を行っている。農業関係では認定農業者の会、生活研究グループ、青年農業者クラブに活動助成や各種の講演会や研修会などで自己研鑽・資質の向上を図っている。また農業後継者や新規参入者には支援対策を、商工関係では人材育成の取り組みのため補助金を支出して間接的な支援を行っている。

今後は分野を超えて、村を担う高度な人材、リーダーの育成も積極的に行う必要があると認識している。

職員には新規採用、採用後5年・10年職員、新任係長、新任課長の各研修会のほか、専門的知識習得のため数多くの研修に派遣し、県とも人事交流を行っている。また、意識改革に繋がるよう人事評価項目の見直しを行い、今後復旧業務が落ち着き次第、意欲ある職員を計画的に長期研修にも派遣したい。

### 指導や訪問を強化する

村 長

- ①地区公民館に健康遊具を設置すると費用や、維持管理、また安全面においての配慮が必要になり設置は難しい。
- ②特定健診は医療費削減を目的に平成20年4月から行っている。平成30年度の受診率は46.5%と前年より0.7%伸びたが、国が目指す60%には届いていない。今後、特定健診率の向上を目指し、村民の健康な生活習慣の確立、健康寿命の延伸に向けた保健事業を推進し、特定健診・特定保健指導を適切に実施する。

